

# 初春に舞う

野方神舞保存会

## ■伝承神舞

照日神社では、五穀豊穡を祈願して毎年3月の第2日曜日に春祭りが行われます。

祭りの特色のひとつに伝統芸能の神舞があり、野方神舞保存会(川原辰雄会長)によって奉納されます。

3月13日(日)に開催された春祭りは、大勢の人手でにぎわいました。

当日は、平成20年の祭りで67年ぶりに復活した『浦安の舞』をはじめ、8段が披露されました。

保存会メンバーは、この日に備え、約3か月間練習を重ねてきました。

保存会は、地域に伝わる伝統芸能を後世に伝えていくことが大きな目的ですが、子どもたちの舞を見ると、この活動がいつまでもふるさつで暮らした

い”と想う郷土愛を育む役割になっていると感じました。

これからの将来を担う子供たちに、この活動がさらに広まり、伝統芸能や文化が継承されていくと同時に、郷土を愛する心が育っていつってくれることを期待しています。

昨年10月には、都萬神社で、昭和15年ごろから途絶えていた神舞が70年ぶりに復活しました。

川原会長は、「両保存会の活動で地域に活気をもたらしたい」と復活を喜びました。

皆様もぜひ伝統ある神舞をご観覧ください。

力強く躍動する杵舞



舞上

四人鬼神舞

浦安の舞